

豊和地区タウンミーティング概要

- 1 日 時 平成22年7月13日（火）19時～20時30分
- 2 場 所 豊和小学校 体育館
- 3 参加者 41人
- 4 市職員 太田市長、鈴木副市長、江波戸教育長、秘書課長、企画課長、総務課長、
財政課長、税務課長
- 5 概 要
 - (1) 開会
 - (2) 区長会長あいさつ
 - (3) 市政報告（太田市長）
 - (4) 質問（要点のみ掲載）

① 市の負債関係

市には負債総額でどれくらいの負債があるのか。それと広報6月号だったと思うが、匝瑳市の実態を書かれた収支の部分。2～3ページに書かれていたと思うが、専門用語で書かれており、一般的にわかりづらいのではないか。

市財政に関連するのだが市立病院の話がよく出る。これが市の財政状況を逼迫させていると思うが、年間3億円以上注ぎ込んでいるという話を聞く。病院経営上それなりの効果があるのか。

それと、どういった方法で経営改善していくのかなという疑問がある。市長もそこに触れられたのだが、今後の市のあり方、子どもや孫が借金を払っていくと思う。我々はもうじきゴール迎えるからいいのだが、子どもや孫に対しての親の責任というのがあるので、そういった意味で端的に伺いたい。

また、市役所の裏に公園を作るという話を聞くが、公園については補助事業なども含んでいると思うが、出来上がってからの管理費などは税金になると思う。アバウトでもいいので、今後の方針がこうなっているということをお伺いしたい。

（市長回答）

130億円くらいの借金があります。このような借金を抱える中で今後どのように運営していくのかということですが、とにかく借金を作らないで市民の皆様から心から喜んでいただける行政のサービスに努めていかなければならないと考えています。節約するところは節約し、背伸びをしないで、子や孫には借金は残さないという気持ちを十分踏まえて仕事をしていきたいと思っております。

市民病院については、毎年3億円以上、一般会計から繰り出しています。昨年

度は5億8千万円くらい病院に繰り出し、本年度も5億円以上、当初予算で病院へ繰り出さなければならない状態です。

市民病院の運営ですが、匠瑛市民病院に限らず、とにかくお医者さんに来ていただければ何とか経営が楽になります。医師数は最盛期の23名から今は旭中央病院からの派遣医師を含めて13名。本当に厳しいところです。

県で地域の病院の再生計画というのがあり、その中の匠瑛市民病院の役割というのは、救急医療を対応する。また、二次救急に対応できる病院にする。さらに、手術も対応できるような体制にしてくれということを言われています。現状では、県の構想も到底消化できるような状況ではありません。県の再生計画に乗るには、市民の皆様方からご意見をいただきつつ、市民病院を立て直さなければいけないと考えており、市民病院のあり方についてアンケート調査を検討中です。

次に合併記念公園についてですが、名前こそ「(仮称) 合併記念公園」となっていますが、あくまでも合併特例債という有利な借金をするための名称です。6月議会中に全員協議会を開いていただき、その中で完成予想図を議会に提出していますが、議会からも「お金をかけるな」、「お金がかかるような公園では反対だ」というようなご意見も頂戴しています。素晴らしい公園ということよりも、イメージとしては駐車場を備えた広場のような公園にしたいと考えています。

(財政課長回答)

市の借金を年間どれくらい返済しているのかというと、平成21年度は、元本と利息を合わせて14億5千万円くらい返済しています。決算の規模が122億2千万くらいなので、1割ちょっとくらいの割合になります。

130億の借金のうち、だいたい6割程度は地方交付税で国からお金がきますので、実質的な市の負担は130億のうちの4割程度ということです。

広報の掲載内容が専門的でわかりづらいというお話ですが、市の財政の状況が良いのか悪いのかということが数字の羅列ではわからないということだと思いますので、来年以降の広報作成時の参考にさせていただきます。

② 国民健康保険税関係

国民健康保険税について、前の市長のときの議会で決まった国保税の率だと思うが、例えば40歳の方、21年度と比べると3割近く上がる。私の場合も2割くらい上がる。この税率を上げる前に、市でどのくらい検討したのか聞きたい。

また、引退した議員がいると思うが、何人いるのか。その議員は議員年金をいただきますね。何期務めるともらえるのか。その額はどれくらいなのか。議員の歳費、政務調査費は、今いくらくらいか。そういったものを十分検討した上で国

民健康保険税を上げたのか。先ほどの市長の話だと、事業をやることについては順番があり、無い袖は振れないということだったが、それもわかるが、そういうことも十分検討した上で上げるべきだと思う。

それと、国保税の未納額がかなりあると思うが、未納額はどの程度あるのか伺いたい。

(市長回答)

就任前の昨年12月議会で国保税の税率改正が行われました。医療費の高騰や加入者の所得が伸びないという社会情勢から、国民健康保険特別会計の運用が難しくなり止むを得ずということであります。

国民健康保険特別会計に財政調整基金という積立金がありますが、昨年3億円取り崩してそれがゼロになってしまい、本年度から増税せざるを得ないという状態に陥った。そのような状態を踏まえて、国民健康保険運営協議会に諮り、その答申が現在の数字になったという流れです。

加入者には厳しい状態になっているわけですが、今年度と来年度は、一般会計から7,500万円ずつ繰り出し金を出す形を考えています。

国保加入者の方には申し訳ないとの思いは持っていますが、国保会計の健全化のためには税率改正せざるを得なかったという状況をご理解いただきたい。

(税務課長回答)

国民健康保険税について、補足説明させていただきます。国民健康保険税を負担していただく目的は、国保に加入している方が病気や怪我をした場合の医療費について、市で7割相当額を給付することが目的です。したがって、国民健康保険事業については市の一般会計とは別に、国保特別会計で処理をしています。国民健康保険税は、その医療費に特化した目的税として負担していただいています。

国民健康保険税については、平成12年に旧八日市場市で、旧野栄町では平成13年に引き上げた経緯があります。その後、毎年医療費が1億円ほど伸びてきていたが、ずっと税率を据え置いた結果、平成21年度には国民健康保険特別会計で約3億円の赤字が見込まれる状況になりました。この3億円は本来なら保険税という形で加入者に負担していただくところですが、急激な負担になってしまうことから、一般会計で全額支援をしたという経過です。

平成22年度以降の税率については、平成22年から26年の5か年間の国保会計の収支見通しを見込んだ結果、毎年約3億円の収入不足が発生する試算となり、収入不足への対応について議論を重ねた結果、平成22年度と23年度の2か年については、一般会計から7,500万円ずつ財政支援を行い、残りの約2

億2,500万円は国民健康保険税の引き上げで対応するという結論に至ったものです。

一世帯あたり27,835円、約17%の引き上げが当初予定されていましたが、3月にもう一度制度の改正を実施した結果、平成22年度については、一世帯あたり16,113円の引き上げとなりました。

滞納額については、平成21年度末で8億2千万円程あります。この対応については、本年度、市の内部で滞納整理特別対策本部というものを設置して、今後の滞納についてどのように進めていくかというのを検討して、この滞納額の縮減に努めていきたいと考えています。

③ 国民健康保険税関係（再質問）

私が聞いたかったのは、一般会計はもう金がないってことでしょ。特別会計の金がなくなったから結局上げちゃうってことでしょ。そういうことですね。

議会のほうはまた別だが、私が聞いたかったのは特別会計云々じゃなくて、市全体で検討したのかということを知りたい。

一般会計にお金があれば一般会計から特別会計に回せるから、国保税を上げなくていいんじゃないかってことです。

（副市長回答）

税務課長からお話したとおり、国保の事業については国民健康保険に加入されている方が基本的には受益者負担という形で保険料を払っていただき、窓口で1割なり3割負担をしていただくということになっています。

市民には国民健康保険に入っていない方、会社の健康保険組合だとか共済組合とか、他の健康保険に入っている方もいらっしゃるのですが、基本的には国民健康保険に加入している方は自分たちで保険料を負担していただくという制度になっています。

したがって、国民健康保険の特別会計を作って運営しています。本来は特別会計だけで運営する独立採算が原則ですが、市民の方の負担も年々増えてきているので厳しいということで、特例的に一般会計から繰り出しています。

一般会計というのは市民の税金なので、国保に加入していない方の税金も入っているのですが、基本的にはそれは好ましくないと私どもとしては考えています。

(市長回答)

副市長が申し上げたように、一般会計のほうから無制限にお金を投入するということは、いろいろ問題があるということをご理解いただきたい。市の行政面、財政面においてもっと節約することがあるだろうというご意見として伺っておきます。

また、議員の年金は何年からもらえるかということだが、12年務めると55歳以上の方はもらえるのではないかと思う。

④ 国民健康保険税関係（再質問）

私が聞きたかったのは国保税率を決めた議員と議会。

議員の歳費だけで生活している方っていないでしょ、みんな兼職でしょ。我々一般市民は、本当に仕事だけで掛け金を払っているわけでしょ。そういうことを私は言いたかった。議員がどれほど努力したのかと。例えば今回議員定数を20人に減らすんですか。近隣市町との比較ではどうですか。新聞折り込みに入っていたが、元議員がデータをとったら13名が適当だとある。香取市とか旭市と比べても13人くらいなんですね。そういう努力をしないで、ただ議員は自分の身を守りたいのかわからないが20人に決めたわけで。そういう努力をして欲しかったということを私は言いたかった。

⑤ 住環境関係

大寺第2の東の方面では、住民だけでは手に負えない状況があるので聞いてもらいたい。ここに書いてある農林水産業の活性化、住環境の整備と関係しているのだが、私の住んでいる所は前も後ろも山であるが、住環境がすごく悪くなってきている。例えば、野菜を作ってもハクビシンに食われてしまう。昔は薪を取っていたから山もきれいだったが、今は畑を作っていないところも多いし田んぼも休耕、テレビなんかじゃ耕作放棄地と言うけれども、そういう所も結構増えてきている。

山田町（香取市）と大寺の境に別荘に住んでいる人もいたが、どうしていなくなったかわからないが、今通ってみるとその別荘も見えない。住環境が良ければ住み着いて人口が増えるという可能性もあると思う。

人も少ないし高齢化も進んでいるので、全部きれいにするっていうのは、地元の人だけでは出来ない。全部関連して、住環境と農林水産業と二つのことだが、きれいにしていかないと、住みたいという人も「畑の野菜食われちゃうんじゃ町に出ようか」とか、全体にそういう生き物が人の住んでいる所に出てきて、人間は町に追いやられて、結局この辺も寂れてしまうのではないか。まちづくりは市

民だけじゃ出来ない。市長はそういう住環境についてどう思っているのか。

(市長回答)

活気あふれるまち、それはまず地域づくりからと思いますが、大きな問題だと思っています。一朝一夕にはいきませんが、そういう問題に対してもマクロ的な形で市としても取り組んでいかなければいけないだろうと考えている。

また、有害鳥獣駆除の問題ですが、市の担当課のほうで現地を見させていただく形で対策をとっていきたい。

⑥ 里山保全・定住促進関係

大寺で里山活動をしている。活力あるまちづくり、市民が主体のまちづくりということで、実は、私のところには多くの若者が都会から来てくれていて、転入希望者が多い。貸してもいいよという家があれば、若い人たちがいっぱい来れると思う。ぜひ皆さんのご協力をいただいて若者たちを受け入れてもらえるようなまちにしていただければと思う。空き家情報とか可能な限り流していただくとか、こういう人たちを受け入れていただければありがたいなど。

毎年うれしいことにカップルが生まれている。ぜひ地域の若者たちにも参加していただいて、市の後押しでもしていただければそれはありがたいと思う。たまたま東京から一人来ているので、彼の意見も聞いてやっていただきたい。

お世話になっている一人です。東京でサラリーマンをやっていたのだが、この6月で退職して自分で会社を作ることになった。その中で、匝瑳市にぜひ移住をさせていただきたいと考えており、実際にいま空き家の情報などを探している状況。

私からお伝えしたいことは、都心から地方へこれから人の流れを大きく作り出していく必要があるとの思い。自分が作る会社もそういった関連のことをやりたいのだが、つまり、匝瑳市のほうにたくさん人を移住させたいと思っている。

実際に私が都心の企業で働いていた経験の中で、いま都心では人が余っている。大不況と産業構造の変化で、JALグループなんて1万6千人を来年までにリストラするというので、その受け皿は都心ではない状態。自動車産業なども電気自動車に変わって雇用が少なくなっている。実際に都心の人が多いのでチャンスだと思う。

一方地方では、第一次産業を中心に人がいない状況下にある。別の仕事でNPO法人「農家のせがれネットワーク」という活動を事務局としてやってきており、その活動が全国的に広がりつつある。農業者を増やそうということで、今までは農家のせがれというのは、「お前はもう農業では飯が食えないから都会でサラリー

マンをやれ」と言われて都会に出てきている人たちが結構いるのだが、その人たちをどんどん実家に帰そうという活動をやっている。ネットワーク化して帰る手伝いをするという形で。そういった、都心から地方へという流れを大きく作らなければという事情をお伝えしました。

(市長回答)

里山保存ということで長年この地でご努力いただきありがとうございます。事業のほうも着々と定着するというか、大きな規模になってきていると拝見させていただいています。

今の意見の中で、若い人たちが里山の保存の運動を通じて当地に定住したい方が多いということは嬉しく思います。行政面でお手伝いできるところがありましたら、できるだけ協力していきたいと思っているので、次の機会にまたお話を伺い、ご相談させていただければありがたいです。

⑦ 人口増加対策関係

幼稚園も小学校もだんだん少なくなって、隣の飯高のように、豊和もなくなってしまったら大変だと思っている。いろいろ老人クラブでもかかわっているが、どうしたらよかろうかということで、集団見合いを市でやっていただいたらどうだろうかというお願いをしたい。それと、人の数を増やすには、県営住宅か市営住宅をふれあいパークの近所に作っていただけたら、何とか人も増えるのではないかと語り合っている。ぜひそういうことが出来たらお願いしたい。

(市長回答)

人口減と少子化対策、婚活、男女の触れ合う機会を作ってくれと、どこのタウンミーティングでも同じような形でお話を伺っています。

そのような中で、市の執行部と相談して、さっそく市内でもそういう対策本部を作ろうではないかとちょうど計画中です。市役所にも若い連中というか独り者がかなり多いという状態。課長クラスの頭の固い者がいろいろ考えるよりは、若い職員の中でチームを作って、いろいろな角度からの人口対策や結婚に対するアイデア等をまとめてもらい、それをたたき台にして対策をとっていかうと思っています。

一人でも多くの若い人に定住してもらえるような匝瑳市になるよう、鋭意取り組んでまいります。

⑧ 滞納状況と小学校統廃合関係

2点伺いたい。先ほど国保税の滞納が8億2千万円あるとおっしゃっていたが、一般会計で、市民税、法人市民税、どれくらいあるのか。

それと小学校の統廃合について。いま豊和小学校は全学年1クラスだが、同じ1クラスでもうちの子供たちがいたときはまだ24、5人いた。今は今年が11人ですか。2年生は9人。来年1年生がたぶん10人くらいだと思う。小規模でいいという話もあるのだが、みんな仲良しでお友達になっちゃって競争意識が芽生えてこないと思う。だからそういうふうにと考えると、八日市場地域の生徒数で9校の小学校は多いと思う。4つくらいに統合したらどうかと。私が考えるに、豊和と椿海、平和と共興、吉田と豊栄、中央と匝瑳と須賀、これくらいに統合したらいいかなと思うのだが。教育長はどのようなお考えか。

(市長回答)

少子化に伴って小学校の運営も厳しくなってくるだろうということで、将来像はどうかということですが、いま匝瑳小学校が、実は教育委員会の方針からいくと統合を検討するという状態です。しかしながら、地元の方、父兄の方は「もうちょっと待ってくれ」ということで、もう少し、もう1年くらい教育委員会のほうでも待ってみようかなという状況。おっしゃられたように、行政面とか先生方の教育方針ということを考えれば、統合が出来れば理想的ではあるが、なかなか難しい問題も山積しているということです。

(教育長回答)

学校の統合問題についてお話をさせていただきます。子どもの数は市内のどこの学校も非常に少なくなっています。したがって平成17年度から児童の減少に対して学校の統廃合をどうするかとずっと検討してきました。

匝瑳市の場合、ご意見をいただいたような形で学校を統廃合していくのは極めて難しい問題です。旧村、旧町に一校で、地域は学校を中心に発展してきていて、学校を中心としたコミュニティが形成されている。学校がなくなると、まとまる拠点を失うような状況が起こるおそれがあります。

飯高地区では極端に児童数が減少したため、3年くらいかけて話し合いを持ち、最終的には子どもの将来を考えたらやむを得ないという形で地区の皆さんのご理解をいただいて、統合するなら八日市場小ということで統合させていただいた。結果としては子どもたちにとっては大変いい状況があるように思います。

ただ学校が無くなった地域の皆さんにとっては大変さびしい状況で、また新た

なコミュニティを形成していかなければならないという課題も生まれてきています。各地区の皆さんの学校に対する愛着と、地域のコミュニティの核をなくすということなので、簡単にはいかないのが現状です。

豊和地区については、おそらくもう6、7年は複式学級が出ないという見通しですが、それが出てきたときにまたその地区の皆さんと話し合いをして、もし統合するとなれば、相手はどこにするかというのも地区の皆さんの考えを伺いながら進めていきます。

(税務課長回答)

市税の滞納額ですが、市税、これは個人の市民税、法人の市民税、固定資産税、軽自動車税、これらを合わせた合計で約7億7千万円、それから国民健康保険税で8億2千万円、合計約16億円の滞納があります。

先ほども申し上げましたが、市の内部に対策本部を設置してこの縮減に努めていきます。

⑨ 市の活性化関係

いま皆さんからいろいろなご意見やご希望があがったが、やはり匝瑳市を活性化していかなければ、皆さんが住みやすいまちづくりということでやっていかなければ決して良くはならないと思う。そのためにはどうするのか。やはり市行政の皆様、議員の皆様、それと住民の皆様がみんなで身を削りあって真剣に考えていかなければ、次の夕張と言われても仕方がないと思う。国会でも民主党で仕分け作業というのがあった。匝瑳市も真剣に考えていかないと。あとで子や孫に誇れる市にしなければいけないと思うので、ぜひ太田市長、頑張って取り組んでいただけたらと思う。

(市長回答)

激励の言葉として受け止めさせていただきまして、熱意に応えられるように頑張ります。